

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2000-353413(P2000-353413A)

【公開日】平成12年12月19日(2000.12.19)

【出願番号】特願2000-103594(P2000-103594)

【国際特許分類第7版】

F 2 1 V 8/00

G 0 2 B 5/02

G 0 2 B 6/00

G 0 2 F 1/13357

// F 2 1 Y 103:00

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 A

G 0 2 B 5/02 C

G 0 2 B 5/02 B

G 0 2 B 6/00 3 3 1

G 0 2 F 1/1335 5 3 0

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月6日(2004.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源と、該光源に対向する少なくとも1つの光入射面およびこれと略直交する光出射面を有する導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子と、該光偏向素子の出光面上に配置された拡散率が5～10%である光拡散素子とからなることを特徴とする面光源素子。

【請求項2】

光源と、該光源に対向する少なくとも1つの光入射面およびこれと略直交する光出射面を有する導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子とからなり、光偏向素子は、拡散率が5～10%である光拡散シートの少なくとも一方の表面に多数のレンズ列が連設したレンズ面を有し、該レンズ面が入光面となるように前記光出射面上に配置されていることを特徴とする面光源素子。

【請求項3】

拡散率が5～10%である光拡散シートの少なくとも一方の表面に多数のレンズ列が並列に連設したレンズ面を有することを特徴とする面光源素子用レンズシート。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

すなわち、本発明の面光源素子は、光源と、該光源に対向する少なくとも1つの光入射

面およびこれと略直交する光出射面を有する導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子と、該光偏向素子の出光面上に配置された光拡散素子からなり、前記光偏向素子は導光体からの出射光を導光体の光出射面に対して偏向させる機能を有し、前記光拡散素子の拡散率が5～10%であることを特徴とするものである。また、本発明の面光源素子は、光源と、該光源に向向する少なくとも1つの光入射面およびこれと略直交する光出射面を有する導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子とからなり、光偏向素子は、拡散率が5～10%である光拡散シートの少なくとも一方の表面に多数のレンズ列が連設したレンズ面を有し、該レンズ面が入光面となるように前記光出射面上に配置されていることを特徴とするものである。さらに、本発明の面光源素子用レンズシートは、拡散率が5～10%である光拡散シートの少なくとも一方の表面に多数のレンズ列が連設したレンズ面を有することを特徴とするものである。